







































































ビクッ

ギシ
ギシ

あッ

あッ

あッ
あッ
あッ

ハア

ハア

あッ

うッ

んッ

グッ
グッ
グッ

はう

あッ

んあッ

パンッ

パンッ

ぬぷ
ぬぷ

ぐちゃ
ぐちゃ

パンッ
パンッ
パンッ

バグッ
バグッ
バグッ

カッ
カッ







ビクビクッ

あッあッあッ

あッ

ドクンッ

ズッ

ビュッ

ビュルルルル







あ、先生…っ
起きちゃったんだ

ご、ごめんね。テントのどこ
騒がしかったもんね？

だからこんなところで
休憩してたんだよね？

——上に乗って何かしてた？

え？ なんで？ 私が？
な、なんにもしてないよっ

先生の寝言聞こえたから
気になっただけだもんっ



ヒョ...

ハア...

ハア...

フ...

フ...

フ...

フル
フル...

ごめんね先生…
声…我慢できなかった

外でこんなことしちゃうなんて
最初は考えてなかったんだけどな…

でも先生が悪いんだよ？
あんなに可愛い寝顔してたら

私でなくても襲いたく
なるもん…絶対

——やっぱり起きる
前に何かしてた？

ちよっとキスしたただけだよ？
ほんとに…それだけっ♡





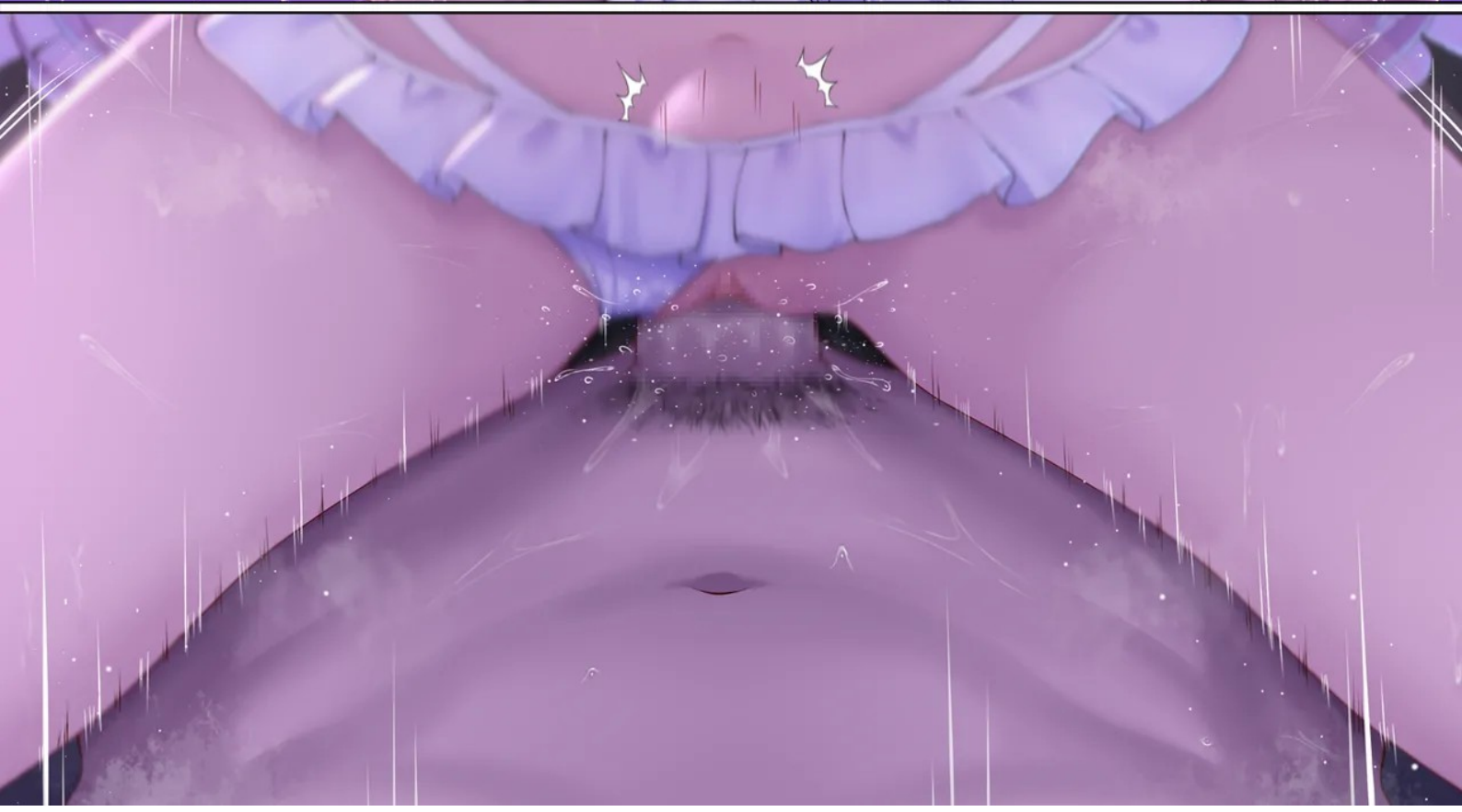














そんなことよりもね
さつきからずっと…

先生のが私に当たってて…
おっさくなってるから…

こうなったのも
やっぱり私のせいだから

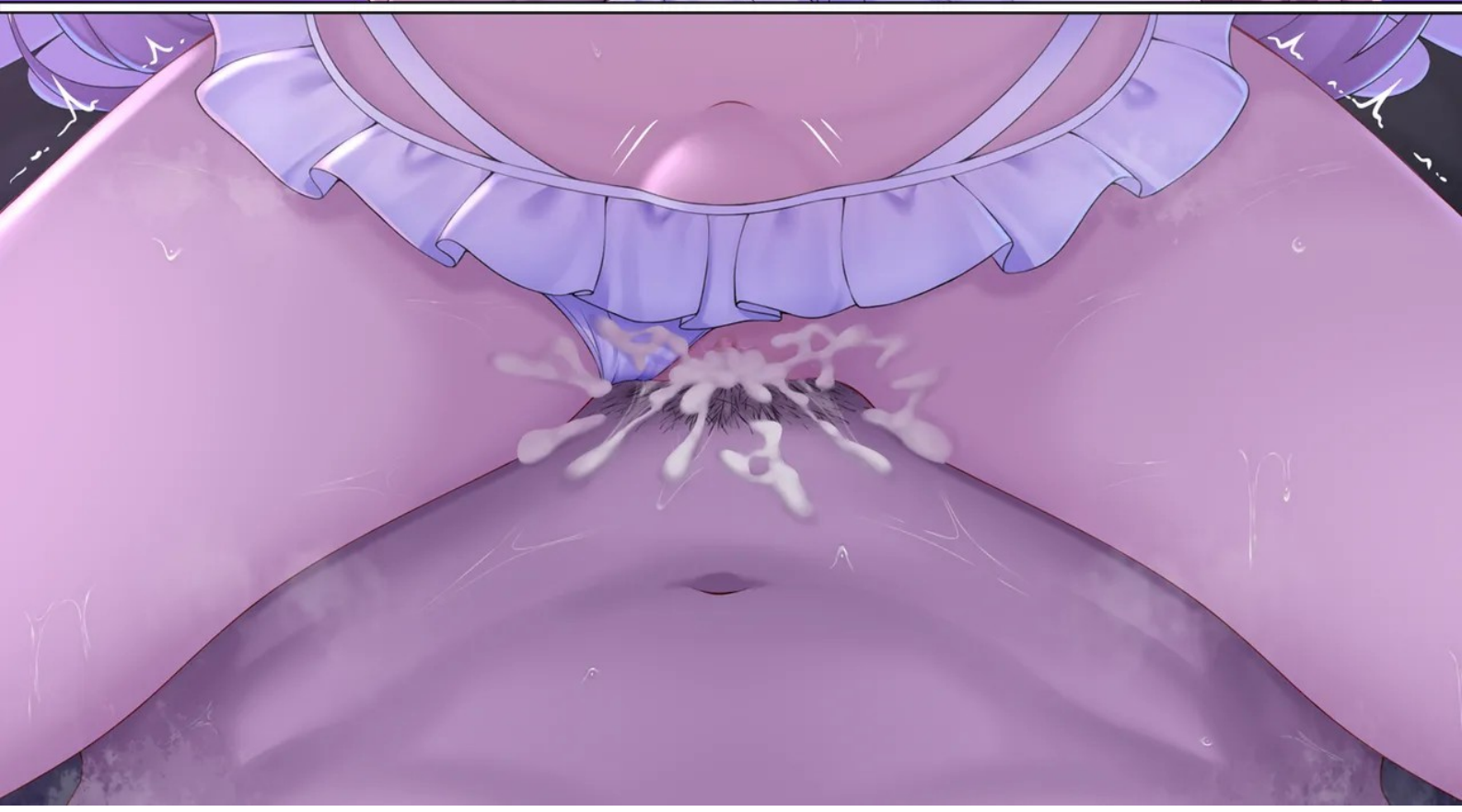
私が先生のお、おちんぽの
お世話しないといけないよねっ

うんっ、頑張るから
先生はじっとしてて…

あ、心配しなくても大丈夫っ

皆には聞こえないように
声は我慢するからね…♡











ビュッ

ん...ッ

ん...ッ

ブル...

ググ...

ズググ...

どうかな...先生...ッ
気持ち...良い...ッ?

ハア
ハア

んッ

んッ

うッ

先生のおつきいから...ッ

ゆっくりじゃないと...ッ
声...でちやいそう...ッ

ふッ

うッ

んッ

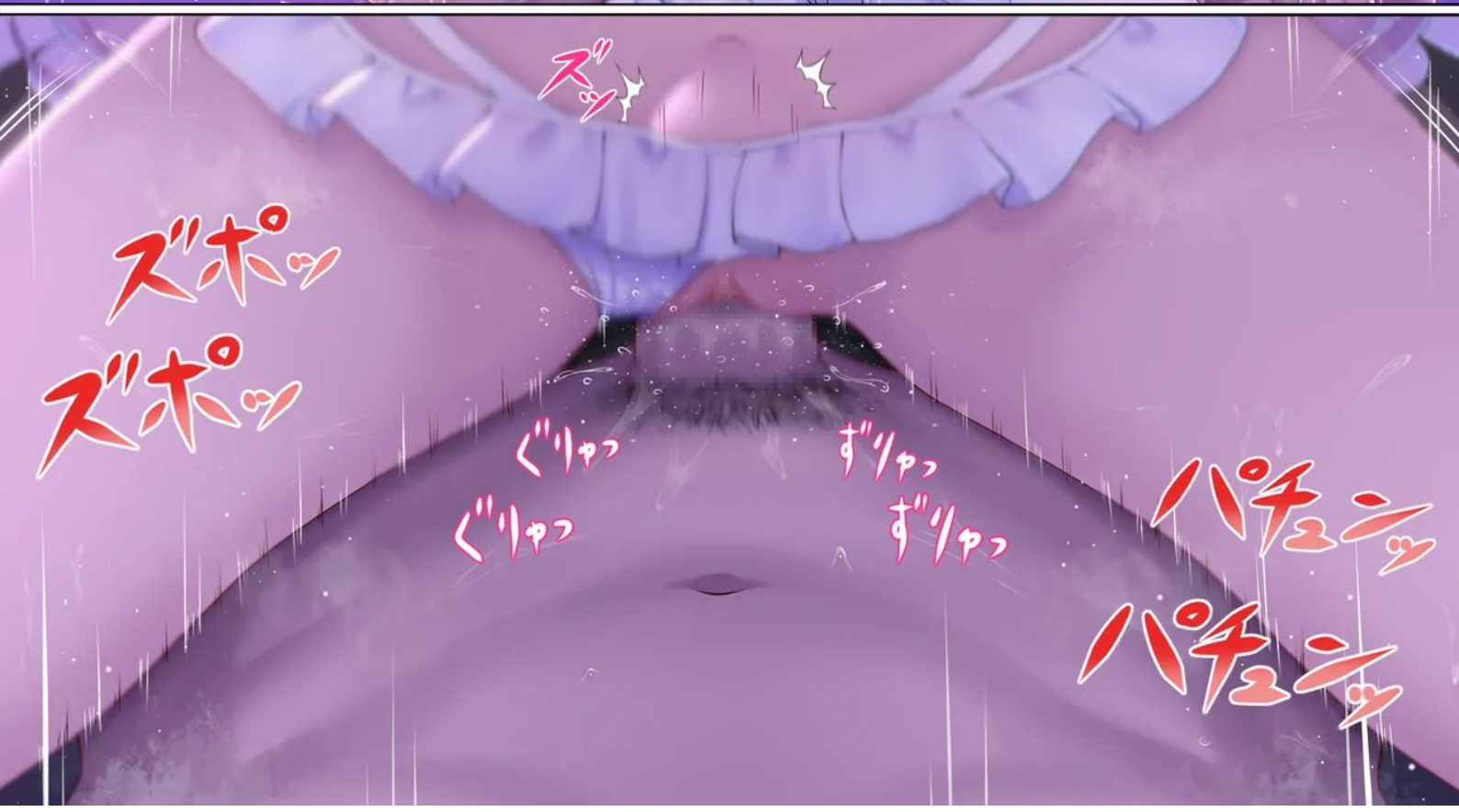
ズリッ
ズリッ

グリッ
グリッ

ずちゅっ
ずちゅっ
しゃっ
しゃっ











ん...ッ

あ...ッ

あ...ッ

びっびっ

ん...ッ

びっびっ

ドクドクドク...

ズズ...

びゅびゅ...

びゅー

どろ...

びゅる...



久しぶりに会って
いきなりこんな…

アンタのそういうところは
相変わらずみたいね

今のなのとは話をしても
訳が分からない

信じるかどうかは
身体に聞いて判断する





ちよつと激しくしただけで
こんなになるなんて…

どんな風になったとしても
身体だけはなののままだな…

とろー

う…

ドロ…



















ちよつと強引だけど
まあ…許容範囲かな

アンタの気が済むまで
好きにすればいいから

せいぜい頑張って
アタシを愉しませてよ♡

言われるまでもない
いつもみたいに

そんな余裕が出ないほど
分らせてみせる

ビクッ

ビクビクッ





あ
あ
...

あ
...

ク"ク"...

ズ"ズ"...

す"ちゃ...

んッ

んッ

くッ
うッ

あッ

ハア
ハア

彼女には…こんなにッ♡♡
やさしくして…あげてんだッ

でも…こんなのじゃッ♡♡
全然…満足しないんだからッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

グッ
グッ

ジュッ
ジュッ

じゅっ
じゅっ

ぐちゃっ
ぐちゃっ









あ...♡♡♡

あ...♡♡♡

あ...♡♡♡

ん...♡♡♡

ドクドクドク...

カクカク

ビュビュ...

ドロ...

ビュル...

ビュ~~~~~





んあ...ッ♡

フ...ッ♡
フ...ッ♡

う...♡

ビュッ

ビクッ

ビクニッ